

平成21年度

事業報告書

ともえ学園

1 利用者の状況

1) 1年間の入所者状況

月	月初在園数	入 所	退 所	月末在園数
4	70	0	0	70
5	70	0	0	70
6	70	0	0	70
7	70	0	0	70
8	70	0	0	70
9	70	0	0	70
10	70	0	0	70
11	70	0	0	70
12	70	0	1	69
1	70	1	0	70
2	70	0	0	70
3	70	1	1	70
計	70	2	2	70

2) 短期入所事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	3	6	21	
5	3	9	31	
6	2	7	23	
7	4	6	18	
8	3	6	20	
9	3	6	21	
10	3	7	23	
11	3	7	27	
12	3	5	15	
1	4	7	22	
2	3	8	27	
3	2	6	17	
計	36	80	265	

3) 日中一時支援事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	1	1	1	
1	1	1	1	
計	2	2	2	

4) 在所者状況(平成22年3月31日現在)

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	3	0	3
25～30歳未満	3	0	3
30～35歳未満	6	1	7
35～40歳未満	19	0	19
40～45歳未満	17	2	19
45～50歳未満	11	1	12
50～55歳未満	5	0	5
55歳以上	2	0	2
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	2	0	2
1～5年未満	3	0	3
5～10年未満	6	1	7
10～15年未満	35	2	37
15～20年未満	5	0	5
20年以上	15	1	16
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	48	3	51
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	5	0	5
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

支援費支給区分	男	女	計
A	60	4	64
B	6	0	6
C	0	0	0
計	66	4	70

措 置 機 関 名	男	女	計
三次市	4	0	4
庄原市	2	0	2
広島市中区	3	1	4
広島市東区	2	1	3
広島市南区	4	1	5
広島市佐伯区	7	0	7
広島市安佐北区	4	0	4
広島市安佐南区	3	0	3
広島市安芸区	1	0	1
大竹市	1	0	1
呉市	8	0	8
福山市	5	0	5
廿日市市	1	0	1
東広島市	1	0	1
尾道市	2	0	2
竹原市	1	0	1
江田島市	1	0	1
山県郡北広島町	1	0	1
安芸郡熊野町	1	0	1
世羅郡世羅町	1	0	1
島根県松江市	2	0	2
山口県防府市	1	0	1
山口県周南市	1	0	1
山口県岩国市	2	0	2
山口県下関市	1	0	1
山口県熊毛郡平生町	1	0	1
高知県高知市	1	0	1
岡山県真庭市	1	0	1
富山県富山市	1	0	1
石川県津幡町	0	1	1
長崎県長崎市	1	0	1
東京都渋谷区	1	0	1
計	66	4	70

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

目 標 基本的な生活習慣の確立を目指す。
健康、清潔の維持に努める。

内 容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行う。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各居室のモップ掛けを行う。

一日一部屋確実に掃除をする。

トイレは1日3回以上掃除を行う。

歯 磨 き：歯磨きチューブを使用し、毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し、清潔を保つ。

同性支援で行い、ゆっくり入ってもらおうよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

苦手なものは少し量を減らす等、個別に対応する。

- ・月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）
- ・毎週土曜日の午前、爪切り、耳掃除、その他身だしなみをチェックする。
- ・うがい、手洗い、手指消毒の励行。
- ・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。
- ・受診：歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし、必要に応じ受診する。
- ・生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。
- ・髭剃りの個人持ち：管理は職員が行い、掃除も一日おきに行う。充電を週1回日曜日に行う。
- ・12月より歯ブラシの消耗頻度を調べ、利用者に応じた支援を行う。

まとめ

- ・ジャンボロール使用状況を作成する事で使用頻度を把握したが記入漏れがあった。
- ・個別の利用者を対象に毎日の体重、食事量、排便記録表を作成し、浣腸施行日などの徹底を行い健康管理に努めた。
- ・朝夕以外にも必要に応じてその都度薬付けを行い、傷については早い治癒へつながった。
- ・5名を対象に看護より歯磨き粉の変更をし、口臭予防などを行ったがあまり変わった様子は無かった。歯磨き粉が無くなった時点で終了とする。

3 日課

目 標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。
- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

内 容

掃除について

- ・早出職員による居室掃除は1日1部屋を確実に出来るよう、チェック表を作成した。フィルター掃除も同時に行い、清潔な環境を保てるようにした。
- ・廊下、職員室の掃除を毎日夜勤者が行き、爪切り・耳かき後にリビングの掃除を行った。また時間があれば、壁の掃除も行った。
- ・早出のトイレ掃除は、日勤者が休憩から出てきてから（13：30）行う事とし、利用者の見守りを充分に行えるよう配慮した。

トイレ誘導について

- ・放尿や失禁のある利用者について、日中のトイレ誘導を引き続き行った。
- ・日中のトイレ誘導する時間を明確にする。起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後
- ・夜間のトイレ誘導は6名とし、0時と4時からを1時に変更した。

ロッカーの施錠について

- ・服破りに減少がみられた為、施錠の見直しを行い8名から6名に変更した。

午後の日課（散歩）について

- ・昨年に引き続き散歩の計画書を作成し、人数確認の場所や職員の配置を決めて、安全に配慮しながら、散歩をスムーズに行えるようにした。
- ・天候や体調を考慮し、その日のリーダーの判断で散歩の場所（遊歩道、学園周り、室内）や参加者を決めた。

ブログについて

- ・「トライアングルのできごと」について、月毎の予定表を作成し、コメントの管理を行った。

まとめ

- ・日課の流れも定着してきており、利用者の皆さんは時間に沿って混乱無く行動できている。
- ・午後の日課の散歩は安全に配慮し、スムーズに行えた。グループ内でも身体の機能や体力に差が出てきている為、今後はグループ別や個別での散歩も考えていきたい。

4 行事

目 標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらおう。

内容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	10	お花見	25名	学園ハウス横広場
	10	バスドライブ	25名	尾関山公園
5	9	バスドライブ	22名	庄原運動公園

	9	お楽しみ外出	3名	みよし公園
	12	お楽しみ外出	3名	みよし公園・マクドナルド
	20	宿泊旅行	4名	島根アクアス・日御碕・出雲
6	6	お楽しみ外出	3名	布野道の駅
	6	バスドライブ	22名	風土記の丘
	9	お楽しみ外出	2名	湧永満記念公園
7	4	お楽しみ外出	3名	布野コンビニ・君田公園
	4	バスドライブ	22名	灰塚ダム・記念公園
7	15	宿泊旅行	4名	安佐動物園・広島市民球場・平和公園
	21	お楽しみ外出	3名	道の駅・北の関宿
8	8	夏祭り	25名	プレイルーム
9	4	お楽しみ外出	3名	道の駅・湖畔の森福富
	4	バスドライブ	22名	口和町鮎の里公園
	10	宿泊旅行	4名	道後温泉・いんのしま水族館
	18	日帰り旅行	3名	東広島市内・道の駅湖畔里福富
10	5	宿泊旅行	4名	出雲市・松江フォーゲルパーク
	10	親子レク	25名	学園・フルーツランド布野
11	7	お楽しみ外出	3名	マクドナルド・みよし公園
	7	バスドライブ	22名	作木・川の駅
	12	日帰り旅行	3名	森林公園昆虫館・ソレイユ
12	5	忘年会	25名	プレイルーム、センター
	8	お楽しみ外出	3名	フタバ図書・みよし公園
	15	お楽しみ外出	3名	三次ワイナリー・喫茶あるふぁ
1	2	書き初め	16名	トラアングルリビング
	9	新年会	24名	センター大作業室
		初詣	23名	出雲大社三良坂分院
	12	お楽しみ外出	3名	ファミレス・田園
	19	お楽しみ外出	3名	ゆめタウン吉田
2	6	バスドライブ	22名	作木・川の駅
		お楽しみ外出	3名	喫茶店・ドライブ
3	13	お楽しみ外出	3名	土師ダム
	18	日帰り旅行	2名	東広島市内・広島空港

まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出・バスドライブを実施した。
バスドライブとお楽しみ外出を同日に行うことで、人数配分が良く、ゆっくりと過ごすことができて良かった。
- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・親子レクでは、学園での様子を写真でみてもらったり、リンゴ狩りを行い、ご家族の方とゆっくりとした時間を過ごしていただいた。

5 環境

目的

- ・快適で安全に過ごせる環境整備を行う。

内容

- ・掃除確認を作成し、居室やグレーチング、洗面所、フィルター、掃除など至る所が定期的に掃除が出来るよう取り組んだ。
- ・掃除のチェック表を作成し、毎日1部屋づつ順番に掃除を行った。
- ・クリーンボーイを使い、消臭、加湿対策に努めた。
- ・リビングにカーペットを新しく購入し、過ごしやすい環境作りに取り組んだ。

まとめ

- ・毎日の居室掃除を行う事で、清潔な生活環境を維持出来た。同時にベッドの配置を変えたり、破損箇所の確認が出来た。
- ・空気の乾燥の防止やウィルスの感染への対策として加湿を行う事で、意識が広がった。
- ・クリーンボーイの消臭の使用が確実にできていなかった。
- ・リビングにカーペットを購入したことで、フローリングでくつろぐ利用者の方が増えた。

6 グループ会議

目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

内容

4月...日課の確認、入浴について、ケースカンファレンス(2名)

5月...衣類整理の方法について、トイレ誘導について、ケースカンファレンス(4名)

6月...人権について、集いの方法について、ケースカンファレンス(4名)

7月...人権について、事故報告の対策について、ケースカンファレンス(4名)

8月...歯磨き支援について、夜間のトイレ誘導について、ケースカンファレンス(4名)

9月...親子レクの確認、食事前の場所について、掃除について、ケースカンファレンス(2名)

11月...ソファについて、臭い、加湿対策について、ケースカンファレンス(4名)

12月...カーペットの使用状況、ソックス着用について、ケースカンファレンス(4名)

1月...洗面所の水量について、新入所者について、ケースカンファレンス(5名)

2月...食事の席について、ケースカンファレンス(5名)

3月...部屋替えについて、各係のまとめ、ケースカンファレンス(4名)

経過、課題

- ・今年度は毎月数名ずつケースカンファレンスを行い、ケース目標や抱えている課題について意見交換を行う事ができた。また、直ぐに対応しなければいけない利用者さんについては、その都度話し合いをし支援方法を考えた。
- ・それぞれが考えをまとめて参加し、活発な意見が出るよう議題の提案を早めに行った。考えをまとめて出席する職員は少なかったが活発な意見は出ていた。
また、考えや意見を引き出せるような進行が出来ていなかったことも課題である。
- ・今後も利用者のより良い生活が送られるよう意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

7 まとめ

今年度は4月に職員の変更、年度途中で2名の職員の変更があり少し落ち着かない利用者もいた。しかし、クラブ活動は定着し利用者の方も平日の午前中はクラブ活動、午後からは散歩という一日の流れは安心出来る要素となっていたように思う。

食事場面については、時間のかかる人には早めに食事を開始してもらいゆっくりと食べられる時間を確保し、また個別に支援の必要な方には職員が支援出来る時間を設定した。

入浴については、一度に入浴するのではなく少人数ずつ入浴できるよう見直しを行った。

利用者の方もゆっくり落ち着いて入浴でき、個別の支援も行えるようになったと思う。

環境面ではリビングのソファーを見直し、利用者の方の生活を見た時、フローアへ横になってくつろいでいる人が多いと言う事から、カーペットを購入した。また、トイレを中心に生活棟内の掃除の徹底を行い、清潔な環境づくりに努めた。

今後も利用者の方が穏やかに安心して過ごせる環境づくりを行っていききたい。また、一人ひとりでは違うので対応も個々に応じ、利用者の立場に立って考え、柔軟な対応、関わり方について日々考えて支援したい。

(藤田由香里、山下 誠、有田貴之、山地恵子、渡邊 武、岩岡直幸、桑田樹実、藤 頼久、菅原献司)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を考えた対応をし、安定し、穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な環境を提供する。

2 生活

1) 生活全般

目的

- ・基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・健康で規則正しい生活を送られるよう支援する。
- ・皮膚疾患、外傷などの予防、対応。

内容

〔生活〕

食 事：ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮する。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。又怪我等無いかの全身チェックをする。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、又確認による健康状態の把握に努める。
排泄後始末介助と援助（ペーパー使用）。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

寝 具：週一回シーツ交換、又日常的汚れはその都度交換する。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをする。
衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつける。

日用品：定期的確保による常備。

掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

〔衛生〕

手洗いの励行：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添える等個別支援による確実な手洗い。

シャボネット・ジェスパ使用。タオル、手指乾燥機による確実な拭き取り。

口腔：毎食後の歯磨き実施。定期歯科受診。歯ブラシの交換。

外出後・クラブ活動後にはイソジンによる口腔内消毒。

洗顔・髭剃り：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭き及び、電気カミソリでの髭剃り実施。

散髪：定期的（ひと月半程度）実施。

血压：毎月一回。

体組成測定：毎月一回（毎週日曜日に5，6人程度測定し、ひと月で全員を測定）。

爪切り・耳かき：週一回。

薬付け：入浴後個々に応じた軟膏塗布（あかぎれ防止、痔の治療等）。および、朝食後、昼食後にすり傷、切り傷等のイソジン消毒や軟膏塗布、点眼など、その時の利用者の状況に応じた処置をする。また、その処置を記録表に記入し、確実に実施。

加湿：感染症予防対策でクリーンボーイ（室内浄化機）による加湿を冬場1日2回行った。

服薬：食事後の服薬については、1月より誤薬防止のため、2名で対応するように変更した。

経過、課題

- ・引き続き健康状態の観察が必要と思われる。身体変調等、日頃の様子観察をし、又看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な処置をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修などを迅速に行う。
- ・歯磨き支援について、統一した歯磨き支援、及び口腔内の残渣物の除去をより、職員が意識をしていく。

2) 活動

目的

- ・午前日課係と連携し、利用者が安定して活動しやすい場の提供。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

内容

- ・午前活動と午後活動に分けて実施した。午前のクラブ活動では、月曜日～金曜日に実施。
きのこクラブ（12名）…おもにホダ木の移動（雨天、冬季はセンター内ウォーキングとボールを使った運動）
いきいきクラブ（9名）…生活棟周辺のウォーキング
毎月最後のクラブ活動日には月例会を行った。
- ・午後の活動はおもに散歩を行った。6月より遊歩道コースと生活棟の周りコースの2グループに分かれ、4名の職員が2名ずつ分かれて対応した。

経過、課題

- ・クラブ活動に、利用者の皆さん落ち着いて参加された。しかし個々の適正や好みに合った配置が難しく、今後の課題である。

- ・体調不良や調子が悪くて活動に参加できない方もいたが、1年間みなさん頑張ってクラブ活動に参加された。
- ・午後の散歩を2グループに分けたことで、生活棟周りコースの利用者の方は歩くペースがそれぞれ違うが、2名の職員で対応することにより目も行き届き、より良い支援ができるようになった。
- ・午後の活動が今年度もウォーキング中心となったが、ウォーキング以外のレクリエーション的な取り組みがほとんど出来なかった。来年度は利用者の方が楽しく過ごして頂ける時間を提供できるようにしたい。
- ・今後も健康と体力維持のためにも歩くことは大切であるので、続けていきたいと思う。また、季節感を感じながら歩けるので利用者の方にとっては良い気分転換にもなっているように思われる。

3) 散歩

目的

- ・体力作り
- ・健康維持

内容

- ・6月より2つのグループに分かれて、生活棟周り・山の遊歩道を散歩する。
- ・雨天時は、生活棟内や療育センター内をウォーキングする。

経過、課題

- ・一日の生活の中で、午後は「散歩」と言う日課が定着している。
- ・個々の体調や体力に合わせて散歩を行い、各々の体力と健康の維持が図られた。
- ・雨、雪などの天候不良の日には、室内でのウォーキングが主になっている。その為、利用者間の関係により、一緒に散歩が難しいケースがあり、ウォーキングに参加してもらえない方もいた。
- ・来年度は天候不良の日でも、療育センターと生活棟内の2グループに分かれて散歩を行い、全員が参加できる状況を作っていきたい。
- ・散歩中に無断外出の懸念のある方がおられたが、担当職員がそばで対応することで、施設外に出られることはなかった。

4) 環境

目的

- ・快適で生活感のある空間を提供する。
- ・生活棟の衛生環境維持。

内容

- ・外泊期間中にグレーチング・フィルター・トイレ黄ばみ・倉庫の掃除・部屋の換気や掃除を行った。
- ・壁や戸、カーテンの補修などの損傷箇所があった時には随時営繕を行った。
- ・トイレチェック表をトイレ倉庫に貼り早出・日勤・遅出と時間を決めてトイレの臭いやトイレトペーパーの有無の確認を行った。
- ・毎週日曜日にシーツ交換後、各居室・廊下・リビングの床拭き掃除を行った。
- ・湿度が低い時はクリンボーイを使用し、加湿を行った。

- ・日課の中で役割を決め、ドアノブ・窓拭き・モップ掛け・換気など行った。
- ・随時窓が汚れた時は、その都度窓を綺麗に拭いた。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的な生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・破損したソファは処分やセンター更衣室で活用し、リビングには木製ベンチを設置し、利用者の休息場所として利用してもらった。

経過、課題

- ・気持ち良くトイレを使ってもらうため、トイレの臭いや汚れを解消する為、トイレチェック表を作り、こまめに掃除を行った。臭いや汚れがある時には、早急に掃除した。
- ・壁の損傷（穴など）があったが、営繕係に依頼して修復してもらった。
- ・布団干しの順番を作成したが、布団干しがあまり出来なかった

5) ホームページ

目的

ホームページを通じて利用者の生活や様子を、家族を始め各方面に発信する。

内容

行事や日課、日々の生活風景等を定期的に紹介した。

定期的に壁紙やアイコンを季節に応じた物に変更する。

経過・課題

撮影対象者の一ヶ月ごとの表を作成した。

不適切な表現にならないように注意しながら、生活の様子を紹介する。

より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置くこと。

写真や文章などわかりやす工夫していく事が今後の課題である。

6) 日課、日誌

目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。
- ・確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成。
- ・利用者の状況に応じた日誌の変更。
- ・確実な支援が行える為の日誌の変更。

内容

- ・一日の流れと一週間の流れを分かりやすく記載した。
- ・利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ミスの起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・排泄状況と排泄支援の確認の為、3名を確認欄を追記した。
- ・利用者の状況に応じて変更を行った。

経過、課題

- ・日課について利用者本位ではなく、職員の仕事効率を重視した支援になりがちで、マニュアルに沿って支援出来ていない傾向があった。その為、1月より新年度に向け、利用者目線に立った支援内容にすべく日課の見直しと、グループマニュアルの内、急を要する服薬マニュアルについての変更と徹底に取り組んだ。

3 行事

1) 誕生者外出

目的

- ・自分の誕生日だということを感じてもらう。

内容

- ・誕生日の日に午後から外出をする。

誕生日	年 齢	誕生者外出先
4月 7日	37歳	風季舎、尾関山公園
4月16日	44歳	三次運動公園、コンビニ
4月23日	34歳	喫茶店、コンビニ、シューズプラザ
6月17日	32歳	喫茶店・セブンイレブン・運動公園
7月27日	61歳	三次市内一周ドライブ
7月27日	42歳	ユニクロ、ジョイフル
8月 5日	45歳	CCプラザ・三次公園
8月 9日	43歳	CCプラザ
8月31日	41歳	国道54号線道の駅巡り（布野～掛合）
9月28日	47歳	CCプラザ
10月 9日	35歳	湖畔の里（福富）
11月 3日	38歳	コンビニ、庄原備北丘陵公園
11月10日	41歳	ナガタニ、喫茶店、マクドナルド
11月20日	45歳	安芸高田市立図書館・ジョイフル安芸高田店
11月24日	43歳	CCプラザ
11月26日	39歳	サングリーン、みよし運動公園
12月13日	37歳	CCプラザ、ナガタニ
12月25日	54歳	サングリーン
1月19日	41歳	CCプラザ、コンビニ
2月10日	23歳	喫茶店、運動公園、コンビニ
2月15日	32歳	マクドナルド、コンビニ、三次公園

経過、課題

- ・お祝いの言葉や外出先でケーキセット等を注文する事等から自分の誕生日を理解されている方もおられたが、カフェ外出との違いを理解できていない方もいた。
- ・自分の希望を言葉にされる方の外出はその希望に沿った外出を提供できたと思う。
- ・誕生日だと言う事を少しでも感じてもらえるような外出を計画していく事が課題である。

2) レクリエーション

目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

内容

4月11日	お花見会（園芸ハウス下広場）
8月22日	夏祭り（多目的棟）
12月12日	忘年会（プレイルーム）
1月16日	新年会（プレイルーム）・初詣（知波夜比売神社）
2月13日	お楽しみレク（プレイルーム）
3月20日	打ち上げ会（灰塚ダム記念公園）

経過、課題

- ・季節の行事を行うことで、四季の移り変わりを感じてもらえたと思う。

- ・ 8月の夏祭りではかき氷、たこ焼きなどを提供し、夏を感じてもらえたと思う。
- ・ 2月のお楽しみレクは、ゲームの後にチョコレート提供し、みなさんととても喜ばれた。
- ・ 3月の打ち上げ会ではハンバーガーを提供後に、一年の思い出を振り返ってもらった。
- ・ 夏祭りでの職員の服装や忘年会、新年会での会場の飾り付けなどがもう少し工夫できると思った。雰囲気作りも今後の課題としたい。

3) バスドライブ・バスハイキング

目的

- ・ 利用者全員で好きな飲み物を自動販売機で購入して飲む。
- ・ ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・ 屋外でお弁当を食べて、外出を楽しむ。
- ・ ハイキングする事で季節を感じる。

内容

- ・ レインボー会議のある土曜日の午後、マイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブし、自動販売機で自分の好きな飲み物を購入してもらったり、昼食のお弁当を持ってドライブし、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

月 日	行き先	参加人数
5月23日	風土記の丘	22名
6月13日	みよし公園	21名
7月11日	庄原上野総合公園	21名
9月12日	君田遊園	18名
11月14日	尾関山公園	21名

経過、課題

- ・ 利用者は大変楽しみにされていた。
- ・ 行き場所については、時間的かつ利用者の体調面等々の配慮から限られてしまった。
- ・ 一度だけ個別の外出が重なり、参加出来ない方が3名おられたが、ほとんどの行事に全員が参加された。

4) 外出

目的

- ・ 外出することにより気分転換をはかり、日常生活の励みにする。
- ・ 自分の好きな昼食を食べもらい、一日ゆっくりと過ごす。気分転換をはかる。
- ・ 色々な経験の場を提供する。

内容

月 日	内 容
4月14日	カフェ外出：三次市立図書館・サングリーン
4月21日	カフェ外出：三次運動公園
5月 7日	ランチ外出：吉田ゆめタウン、神楽門前湯治村
5月12日	カフェ外出：三次運動公園・コンビニ
5月19日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
5月26日	ランチ外出：吾妻山国民休暇村、灰塚ダム
6月 2日	カフェ外出：高宮町田園パラッツォ

6月 5日	ランチ外出：福山市立動物園・ファミリーレストラン クロスロードみつき・コンビニ
6月 9日	カフェ外出：マクドナルド・みよし公園
6月23日	カフェ外出：セブンイレブン、三次運動公園
7月 9日	ランチ外出：しまね海洋館アクアス
7月14日	カフェ外出：はらみちお美術館・コンビニ
7月21日	カフェ外出：三次市立図書館・サングリーン
8月13日	カフェ外出：国営備北丘陵公園、コンビニ
8月19日～20日	お楽しみ旅行：周防大島町、宮島
8月25日	カフェ外出：高宮町田園パラッツォ
9月 8日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
9月12日	カフェ外出：上の原牧場「カドーレ」
9月15日	ランチ外出：湧永庭園、しまむら吉田店
9月23日～24日	お楽しみ旅行：マツダスタジアム・イオンモール広島祇園 安佐動物園
10月 7日～ 8日	お楽しみ旅行：大和ミュージアム、野呂山、音戸の瀬戸
10月20日	カフェ外出：コンビニ・備北丘陵公園
10月22日	ランチ外出：吉田ゆめタウン、みよし公園
10月27日	カフェ外出：三次市立図書館・サングリーン
11月12日	カフェ外出：三次運動公園、コンビニ
12月 1日	カフェ外出：カドーベーカーリー、親水公園
12月 8日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
12月18日	カフェ外出：みよし運動公園、コンビニ
1月 7日	カフェ外出：マクドナルド、三次公園、コンビニ
1月12日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
1月26日	ランチ外出：賀茂ボール、ホット賀茂、道の駅
2月 2日	カフェ外出：安芸高田市道の駅(北の関所)
2月16日	カフェ外出：CCプラザ、マクドナルド
2月18日	ランチ外出：福山動物園
2月23日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
3月 2日	ランチ外出：ガスト西条店、中央森林公園
3月 9日	カフェ外出：安芸高田市道の駅(北の関所)
3月16日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
3月23日	カフェ外出：庄原上野総合公園、コンビニ

経過、課題

- ・利用者の方は、とても外出を楽しまれていた。
- ・去年の課題であった外出回数を増やす事が出来た。また宿泊旅行も3回行った。
- ・グループ職員が3名入れ替わったが、外出を多く行った事で、新たにレインボーグループに加わった職員も利用者の方との関係作りや行動などを知る機会となった。

- ・今年の外出をふまえて利用者の方同士の関係や移動距離、場所、回数などを来年度の課題としたい。

5) 親子レクリエーション

目的

利用者、ご家族、職員の親睦を深め楽しい時間を一緒に過ごす。

場所

ともえ学園多目的棟、遊歩道

内容

利用者・ご家族・職員一緒に集まってお弁当を食べ、レクやウォークラリーをして親睦を深める。

経過・課題

利用者も落ち着いて参加され、ご家族の方も今回は近場でゆっくりでき、いろんな話のできたので、たまには園内で親子レクをやるのも良いと言う意見が多かった。また、昼食のお弁当も非常に好評だった。ご家族の高齢化も進んできており、ゲームや運動の内容をご家族の負担にならない内容にする事が今後の課題である。

5 グループ会議

目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

内容

- 4月 支援体制について 日課の確認 ケースカンファレンス 個別について 排泄誘導について
- 5月 生活係より トイレトペーパーの使用状況について 匂いと汚れについて ケースカンファレンス 人権について 共通理解事項について
- 6月 人権について 宿泊旅行について 共通理解事項について ケースカンファレンス
- 7月 共通理解事項について 人権について ケースカンファレンス
- 8月 共通理解事項について 居室の変更について ケースカンファレンス 親子レクについて 体育祭について 人権について
- 9月 人権について 日課の流れについて 体育祭・親子レクについて ケースカンファレンス
- 11月 人権について 自己研修について 伝達研修について ケースカンファレンス 共通理解事項について
- 12月 報告研修 人権について 共通理解事項について ケースカンファレンス 3月研修会でのテーマについて
- 1月 報告研修 共通理解事項について 食事支援・食事の席の変更について 人権について ケースカンファレンス 歯ブラシの交換について
- 2月 報告研修 食事の席の変更後の様子について 人権について 日課について 共通理解事項について
- 3月 提出書類について 共通理解事項について 研修会発表事例について 人権について 各係よりまとめ

経過、課題

- ・会議での発案によって、日課や利用者への支援、環境の改善に繋がった事項もあった。利用者へのサービス向上のため、他の部署との積極的な意見交換にも努めたい。
- ・ケースカンファレンスで話し合いを行うことにより、支援や利用者への共通理解に努め、支援方法を考えた。
- ・早めに議案を提示し、それぞれの考えを持って会議に臨んで貰えるように努めたが、連絡事項だけに終わってしまう事項も多かった。来年度は活発な意見交換と提案が出来る場にしていきたい。

6 まとめ

大きく体調を崩されることなく、一年を通じてクラブ活動やグループ活動に参加して頂くことが出来た。クラブ活動への参加の定着に伴い、積極的な参加に繋がる活動内容について再度見直しをしていきたい。食事や入浴場面などでは、個別の対応や広い枠組みの中でゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。環境面では、トイレを中心に生活棟内の掃除と臭いについての意識が高まり、清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。また、修繕箇所の整備や改善も行った。利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法や支援について今後も考えて行きたい。

(香川直規、中田和弥、木村美代子、福永真也、高場修治、
若床まゆみ、竹間和輝、掛川陽介、中岡健太郎、川本治樹)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

内 容

- ・担当利用者の居室の掃除用にチェック表を作成し活用した。
- ・居室以外の窓の拭き掃除は窓掃除表を作成し、遅出が午前の活動後に行った。
- ・はなまる生活棟とセンターのトイレ掃除の手順を明確にし実践した。
- ・生活棟の廊下を化学モップで夜勤者が掃除する事を決め行った。
- ・センターにほうきとちり取り、モップを設置し間食後に掃除を行った。
- ・フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。

まとめ

- ・居室や窓等はきれいになった。
- ・網戸の害虫や蜘蛛の巣など減らすことができた。
- ・今後センターの掃除と建物管理を充実させたい。

- ・生活棟の洗面所やトイレ、汚れが多い床の掃除方法を変えたい。
- ・今後も快適な生活環境を提供出来るよう取り組んで行きたい。

2) 衛生

目 的

- ・皮膚疾患の予防と対応
- ・健康維持

内 容

- ・入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を確実にを行う為チェック表を作成した。
- ・入浴の際、時間差を付け浴室脱衣場の混雑を分散させゆっくり入浴して頂きこれまで、全面的に支援していた利用者の方には、出来るところは自分で身体を洗ってもらうよう努めた。
- ・毎週土曜日に爪切り・耳かき、日曜日に血圧測定を実施した。
- ・個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りに努めた。
- ・午前、午後のクラブ活動終了後、手洗いとうがいを徹底した。
- ・食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
- ・毎月1回体組成測定を行い、肥満防止、健康管理に努めた。
- ・歯磨き支援として、毎週日曜日午前6名ずつ、ひと月で24名全員の歯磨きが出来るように計画し実施した。歯磨き方法、手順などのマニュアルを作成し状態を把握できるようにした。チェック表として具体的な項目を作った。
- ・衣替えチェック表を作成し、補充・更新の確認を行った。
- ・髭剃り機掃除チェック表を作成し、衛生管理を行った。
- ・歯ブラシ更新表を作成し、定期的な交換を無駄なく行った。

まとめ

- ・入浴後の軟膏塗布は定着していた。名簿を使用し確実にいき、薬の変更があった場合、早急処置簿も変更した。
- ・入浴時間を分散したことで、今まで不十分だった入浴支援も視野が広がりゆっくりと身体観察ができるようになった。
- ・個別に塗り薬を用意し、保湿と予防に役立てた。特に踵の荒れに効果があった。
- ・体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい人に対しては日頃の様子観察から把握する。発見できない事例もあり、今以上に健康状態を把握し、方法を考えたい。
- ・手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、定着し体調を崩すケースは少なかった。
- ・毎週土曜日の爪切り・耳かき、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・食事や睡眠時間に注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活を過ごして頂けるように努めたい。
- ・歯磨き支援で、虫歯の発見や予防、口内炎の発見、歯肉の状態の改善に努めた。
- ・口臭の改善が見られた。

3 グループ日課

目 的

- ・日課の流れを分かりやすく組み立て、利用者の皆さんが安心して生活できるようにする。

- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

内 容

- ・入浴時間の見直し...17時30分からグループ一斉に入浴をしていた取り組みを見直し、時間差で入浴をしていただけるようにした。16:30～6名 17:20～4名 他3名は個別の時間帯
- ・衣類整理の簡素化...洗濯を居室の廊下別で行い、衣類分別・整理をしやすい環境にした。
- ・クラブ活動前の体操...午前、午後の活動前に集まってもらい体操をした。
- ・クラブ活動着の更衣場所変更 自室で更衣する人 7名
- ・午後活動前の集い場所 予定の伝達をセンター大作業室からはなまるリビングへ変更
- ・ビデオ観覧...グループ代表の方に交代でビデオレンタルに出かけていただいた。事前に借りて見たいビデオを聞いておくことで、スムーズにレンタルする事ができた。
- ・カラオケ...歌わなくても聴いているだけの人もいるが、音楽の好きな方が多く定着している
- ・運動...毎月、土日の午後(行事、ビデオ、カラオケ以外の時間)に実施。
球技大会、体育祭に向けて練習。ウォーキングの実施。
- ・水分補給...洗面所にコップを置き随時、水分の補給が出来る状態にしている。

まとめ

- ・日課も定着し利用者の皆さんは時間に沿ってそれぞれに行動され、混乱無く穏やかに過ごすことができている。
- ・クラブ活動以外の時間については、自室で過ごされる利用者の方が多く、リビングを活用した取り組みを充実させる必要がある。
- ・クラブ活動前の運動、特に午後の活動前の運動は利用者の参加率が悪くなっている傾向にあり、皆さんが参加しやすくなるような新たな体操を取り入れたい。

4 行事

1) レクリエーション

目 的

- ・季節に応じたレクリエーションの提供
- ・楽しんで頂ける内容になるよう計画をする。

内 容

- ・4月18日 お花見会、バスドライブ
桜が散っていたので残念だった。かなり暑かったので日陰になる場所でお弁当を食べれば良かった。会食後からバスハイクまでかなり時間が残ったのでレクリエーション等を考えていれば良かった。
- ・5月16日 バスドライブ(作木、川の駅)
帰りの車内、山道の中で尿意をもよおされた方が数名いた為、出発前のトイレ誘導をもっと確実に行えば良かった。
- ・6月20日 ビデオ鑑賞会
周りをカーテンなどで暗くし、大きなスクリーンを使うことで映画館のような雰囲気を作りだす事に成功し、利用者さんにとっても良い気分転換になったと思われる。反省としては、ブレイルームの暗さで人数確認が困難だったことが挙げられる。
- ・7月8日 バスドライブ(高谷山、トラックステーション)
トラックステーションでは菊地さんが希望する缶飲料が無かった為、探しながらドライブし、

志和地の自動販売機で購入した。天候も良く、良い気分転換になったと思われる。

・ 8月29日 夏祭り

職員もまとまって楽しい夏祭りになった。ただ、かき氷のシロップが時期的に遅かったのか、店舗に在庫が無いことがあったので購入方法や日にちを考えておく必要がある。

・ 9月19日 バスドライブ(みよし運動公園)

運動公園内では缶飲料を購入し間食を摂る予定だったが、観光客が多かった為、少し早めにバスに乗りドライブに出発し、川地方面に行き自動販売機で好みの缶飲料を購入してもらい、バス内で飲食して頂いた。

・ 11月14日 藤兼祭り

御神酒のコーヒ牛乳はとても喜ばれていた。みなさん落ち着いて上手に神輿を担がれていた。

・ 11月28日 バスドライブ(カヌー公園)

肌寒かったが天候も良く、みなさん目的地でとても楽しそうにされていたので良かったと思う。

・ 12月19日 忘年会

準備が不十分で画像の準備や、スクリーンに映すテストもしてなかった為、遅れてしまった。事前のテストをしておくべきだった。

・ 1月23日 新年会

全体的に表情も良く満足して頂けたようだった。

・ 1月23日 初詣(知波夜比売神社、布野道の駅)

新年会で飲酒された方も気分を悪くされることなくバスドライブ、初詣を楽しんで頂いた。

・ 2月20日 バスドライブ(風土記の丘)

時間的には余裕があって良かったが、自動販売機の内容では困る事が多く、予めどこにどの種類があるのか、種類は豊富にあるかなど確認しておくか、調べたマップのような物があると便利だと感じた。

まとめ

- ・ 皆さん楽しみにされている行事なので今後もそれぞれの意見を取り入れ職員と利用者さんの関係づくりと生活の励みに繋がるよう、内容を検討していきたい。

2) ビデオレンタル

目的

- ・ 余暇の時間を利用し、ビデオを鑑賞する。

内容

- ・ 前年度と同じ方に代表してレンタルへ行ってもらった。

まとめ

- ・ 皆さんビデオレンタルを楽しみにされていた。興味のない方には職員が助言をし、一緒に借りる作品を選んだりした。なるべく多くの方からリクエストを聞き、またメンバーも変更してたくさんの方に楽しんで頂けるようにしていきたい。

3) 宿泊旅行

目的

- ・ 学園とは違った環境で色々な事を体験し日々の生活の意欲に繋げる。

- ・社会性を身につける。
- ・利用者の希望に添った場所を計画する。

内 容

月 日	参加人数	場 所
5月13日～14日	4名	米子、松江方面
6月 7日～ 8日	4名	ビッグアーチ、広島市内
7月22日～23日	4名	金比羅参道
8月26日～27日	4名	山口県下関市
9月16日～17日	4名	宮島、イオンモール祇園
12月16日～17日	4名	広島市内

まとめ

- ・食事のバイキングなどにより利用者さんも喜ばれた。今後も反省点を活かし、思い出に残る楽しい時間を提供していきたい。

4) 外出

目 的

- ・希望に添った外出を行い、落ちついた生活を送る。

内 容

実 施 日	参加人数	場 所
4月17日	2名	CCプラザ、ダイソー
4月24日	2名	ジョイフル、尾関山
5月22日	3名	サングリーン
6月12日	3名	サングリーン、ダイソー
6月26日	2名	サングリーン
7月 3日	3名	CCプラザ、マクドナルド、三次親水公園
8月 8日	2名	サングリーン、ダイソー、マクドナルド
8月21日	2名	サングリーン、ダイソー
9月 4日	3名	サングリーン
10月 9日	3名	サングリーン
10月23日	3名	サングリーン、ダイソー、ナカタニ
11月 1日	3名	河内ふれ愛祭り
11月13日	2名	サングリーン、ダイソー、マクドナルド
12月11日	2名	CCプラザ、マクドナルド
12月 5日	3名	サングリーン、ダイソー
1月15日	2名	ダイソー、ユーホー、マイアミ書店、ジョイフル
1月22日	2名	庄原ビッグ、フタバ図書
2月12日	2名	サングリーン
2月19日	2名	サングリーン、ダイソー
3月19日	2名	喫茶店(コリニア)、ダイソー、高谷山

- まとめ
- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
 - ・今後も希望に沿った外出を計画していきたい。

5) 親子レクリエーション

目的

- ・家族と利用者、職員の親睦を深め、楽しい時間を過ごす。

内容

- ・日時 平成21年10月11日(日) 11時00分～14時00分
- ・場所 多目的棟、遊歩道周辺
- ・多目的棟でゲームを楽しんだ後、遊歩道でウォークラリーを楽しんだ。

まとめ

- ・28名のご家族に来園頂き、開催した。午前のゲーム大会では親子揃ってゲームを楽しんでおられる様子を見る事が出来て良かった。準備の方では計器の電池切れに前日になって気付いて慌てた為、事前の確認を徹底したいと思った。また、ご家族の参加の無かった利用者さんへの配慮をもう少し考える必要があると思った。午後のウォークラリーでは、持ち帰った落ち葉でアート作品の制作をして、とても面白かった。

まとめ

- ・食事を自炊するなどにより利用者さんにも喜ばれた。
- 今後も反省点を活かし、思い出に残る楽しい時間を過ごしていただく。

5 グループ会議

目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動についての課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部所との意見交換、情報交換、協議。

内容

- 4月...歯磨き、髭剃りの支援について、作業服の更衣場所について
- 5月...クラブ活動、ケースカンファレンス
- 6月...人権について、ケースカンファレンス
- 7月...人権について、デスクワークの時間について
- 8月...親子レクについて、ケースカンファレンス
- 9月...親子レクについて、人権について
- 11月...伝達研修、人権について、ケースカンファレンス
- 12月...伝達研修、人権について
- 1月...人権について、食事の準備について
- 2月...人権について、食事の準備について、洗濯物の取り扱いについて
- 3月...各係からのまとめ

まとめ

- ・会議前には、議題を提供し各自の考えをもって会議に臨むようにした。その他、迅速な対応を必要とする事柄に関しては、社内メール等を通じて協議し、速やかな対応を行った。
- ・会議参加者が意見を出しやすいよう小グループでの検討なども繰り返し行った。

・出張研修の内容を各自報告した。

(高田孝康、塚本博志、岩戸洋三、荒瀬好司、堂西美保、魚見敏満、佐々木拓実、長岡清美、濱本 豊)

5 園内行事

- ・一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として毎月学園内で計画実施した。
- ・学園周辺の環境整備を計画実施した。

1 はな祭り

日時 平成21年 4月 8日 水曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員 17名 係長：塚本 係：岩戸、堂西

利用者の方が花御堂の屋根に花の飾り付けを行った後、参加者全員でお焼香、誕生仏に甘茶をすくい掛けるといった流れで進行していきました。係の職員による、はな祭りの由来についての説明と、お焼香と甘茶を掛けて合掌する事で花祭りの雰囲気を感じとって頂きました。

2 合同バスハイク

日時 平成21年 5月 2日 土曜日 13時30分～15時50分

場所 灰塚ダム

内容 利用者29名 職員10名 係長：中岡 係：有田・長岡

定例外泊期間中、在園者対象でのバスハイクでした。バスの車内では皆さん表情良く、窓から外の景色を見ておられ、現地では皆さん落ち着いて公園内を散策し楽しまれました。

3 母の日感謝祭

日時 平成21年 5月10日 日曜日 14時20分～15時20分

場所 食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員13名 係長：高場 係：桑田・兼藤

昨年に続き今年で2回目の母の日感謝祭でした。参加者全員の母親の名前を呼び、呼ばれた方がそれぞれのグループの花瓶にカーネーションを活けていく内容でした。最後に各グループ代表者に母親への思いを語って頂きました。終了後、4つの花瓶に一杯になったカーネーションは各グループおよび管理棟に飾られました。

4 草刈り(1回目)

日時 平成21年 6月15日 月曜日 9時00分～13時

場所 県道39号線 水路沿い山側約1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

内容 職員6名 係：有田

草刈りは水路沿い、FOX周辺、水源井戸周辺、学園坂ノリ面と移動しながら行い、草集めは、最終の草刈りの後を追いながら、水路に落ちた草、石などの除去に努めました。水路沿い、FOX周辺は草刈りメンバーと草集めメンバーと共に行動を共に行いました。

5 父の日感謝祭

日時 平成21年 6月21日 日曜日 14時00分～15時10分

場所 食堂

内容 利用者67名 短期入所者1名 職員13名 係長：桑田 係：福永・塚本

父の日の由来と感謝の話の後、ゲームへと移りました。ゲームでは各職種別の衣装をお父さん役

の職員に利用者さんが着せていき、みなさんに、どんな職業のお父さんが出来たかを答えてもらいました。働くお父さんに感謝の意味を込めて、各グループから代表者に一言メッセージがありました。全員が参加出来る内容であり雰囲気も良く皆さん落ち着いて参加されていました。

6 七夕祭り

日時 平成21年 7月 7日 火曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者70名、職員15名 係長：竹間 係：山地・堂西

会場を暗くしweb絵本をスクリーンに映しながら職員が朗読を行いました。各グループで書いてもらった短冊の紹介があり、最後には七夕の歌を全員で合唱して楽しく会は終了しました。

7 物故者追悼式

日時 平成21年 8月 7日 金曜日 10時30分～11時00分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者70名 来賓2 職員17名 係長：長岡 係：野曾原・川本

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、メッセージ代読、献花、参列者全員での歌、閉会。閉会后、参列者全員に飲み物が配られました。

8 大掃除・ワックス掛け

日時 平成21年 8月11日 火曜日 9時30分～

場所 とみし学園・療育センター

内容 職員26名 係長：中田 係：岩岡・佐々木

天気を心配しましたが雨は降ることなく、職員の協力によりスムーズに大掃除・ワックス掛けは無事に終了することができました。

9 全体活動

日時 平成21年 8月11日 火曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センター プレイルーム

内容 参加利用者34名、職員4名

生活場所の大掃除の日であり、掃除中の利用者さん支援は養育センターで行う事としました。午前中は「もののけ姫」のビデオを放映、午後からはカラオケ等で音楽を楽しんでいただきました。

10 合同バスハイク

日時 平成21年 8月12日 水曜日 13時50分～15時50分

場所 とみし山、ドライブインふるさと

内容 参加利用者31名 職員11名 係長：佐々木 係：渡邊・若床

定例外泊期間中の在園者対象でのバスハイクでした。ドライブインふるさとで好みの飲み物を購入し間食を摂り、とみし山までのドライブを楽しまれました。

11 体育祭

日時 平成21年9月26日 土曜日 10時30分～14時40分

場所 グランド

内容 参加利用者70名 短期入所者1名 51家族81名 職員27名

係長：掛川 係：藤・魚見

今年は入退場門を新しく作ったことで、体育祭の雰囲気がよく出ました。また、テントに椅子を置き、利用者さんがシートに座る以外にも椅子に座れるようにしました。とても良い天気の中なかで開催

でき、怪我無く終了する事が出来ました。

1.2 収穫祭

日時 平成21年10月 9日 金曜日 10時30分～11時00分

場所 外宮周辺

内容 利用者70名 職員18名 係長：魚見 係：渡邊・中田

当日収穫した野菜とさつまいもをお供えにしました。園長からの挨拶、収穫祭についての説明、榊の奉納が行われました。御神酒はコーヒー牛乳に変更し閉会後に、参加者全員に配られました。昨年について2回目の収穫祭でした。収穫祭を通して収穫の喜びと感謝の気持ちを持つ事ができました。

1.3 草刈り(2回目)

日時 平成21年10月17日 土曜日 8時30分～12時00分

場所 県道39号線 水路沿い山側約1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

内容 職員6名 係長：有田 係：竹間・岩戸

準備は前日、軽トラックに乗せていた為、当日はすぐに移動できました。草刈り職員数を1回目と同じ4名で行い、開始時間を30分早い8時30分からとしました。天気良く人数も揃っていたので予定時間通り実施出来ました。

1.4 勤労感謝祭

日時 平成21年11月23日 日曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者64名 短期入所者1名 職員14名 係長：木村 係：渡邊・佐々木

元気で働けることと食べ物に感謝し祝う事をねらいに実施されました。勤労感謝の日の由来を説明した後、グループ代表職員が、活動や日課など頑張っておられる様子を披露し、各グループの感謝状に参加された利用者さん全員による花の飾り付けがありました。

1.5 クリスマス会

係長：若床 係：山下・荒瀬

平成21年12月25日 金曜日 に実施予定で準備を進め、クリスマス会当日までに準備物の準備も完了していましたがクリスマス会直前、1名の利用者さんの様態急変という事態が発生し、急遽クリスマス会は中止としました。

15時頃より、食堂に全員集合してもらい、クリスマス会が中止になった理由を説明し、ご理解も得ました。準備していたクリスマスプレゼント(クリスマスカードとチョコレート)を皆さんに配り、間食の缶飲料とクリスマスケーキを飲食してもらいました。クリスマス会を楽しみにされて方には大変申し分けありませんでしたが、ケーキと缶飲料、プレゼントをととても喜んで頂けました。

1.6 大掃除、ワックス掛け

日時 平成21年12月30日 水曜日 午前9時30分～

場所 ともえ学園

内容 職員27名 係長：中田 係：岩岡・佐々木

荷物の移動がスムーズにでき、早くから作業を始めることができました。天候はあまりよくありませんでしたが、職員の協力によりスムーズに進行でき、きれいに仕上がりました。利用者さんにも予定通り生活棟に戻っていただくことができました。

1.7 全体活動

日時 平成21年12月30日 水曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者 27名 職員 4名

ビデオ鑑賞とカラオケを楽しまれました。音楽には関心を示される方が多く、落ち着いて過していただくことが出来ていました。

18 平成21年職員納会

日時 平成21年12月30日 水曜日 17時20分～17時30分

場所 ともえ学園 会議室

内容 職員 26名 係：事務長

この一年の仕事について相互に感謝と慰労と新年の健康を祈念。

渡邊親睦会副会長、各部署課長、部長、事務長より1年間の報告、園長より総括と年末慰労挨拶が行われ三本締めで最後を締めました。

19 鍋料理提供（定期外泊期間中の在園者を対象）

日時 平成22年 1月 3日 日曜日 11時45分～12時40分

場所 食堂

内容 利用者 29名 短期入所者 1名 職員 9名 係長：岩戸 係：桑田・川本

普段食べられない寄せ鍋をゆっくりと堪能して頂きました。

20 合同初詣（定期外泊期間中の在園者を対象）

日時 平成22年 1月 3日 日曜日 13時50分～15時50分

場所 天津神社

内容 利用者 30名 短期入所者 1名 職員 9名 係長：岩戸 係：桑田・川本

天津神社にてお参りし一年の健康祈願を行いました。

21 平成22年職員年賀式

日時 平成22年 1月 5日 火曜日 9時00分～9時05分

場所 職員室

内容 職員 20名 係長：事務長

新年を祝い、事務長の司会進行で朝礼を行う前に開催されました。

前岡園長より年頭の挨拶、年男・年女3名による今年の抱負があり、健康と幸せを祈念し全員で乾杯しました。

22 年賀式

日時 平成22年 1月 6日 火曜日 10時～

場所 食堂

内容 利用者 69名 職員 18名 係長：山地 係：高場・荒瀬

園長より年頭挨拶、年男の利用者さん7名の紹介、年男代表挨拶、各グループの一年の抱負、鏡開き、祝い酒での乾杯、「一月一日」を参加者全員で合唱しました。この後、利用者さんにはお祝いの紅白まんじゅうと飲み物が配られました。

23 餅つき

日時 平成22年 1月17日 日曜日 10時00分～11時00分

場所 プレイルーム

内容 参加利用者 70名 短期入所者 1名 職員 16名 係長：山下 係：掛川・長岡

時間よりやや遅れて開始になりましたが、年男利用者の方から餅つきと希望者による餅つきをおこ

ないました。餅つきのかげ声や手拍子等で餅つきは盛り上がっていました。

2.3 とんど

日時 平成22年 1月17日 日曜日 10時00分～15時00分

場所 駐車場裏空き地・食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員16名 係長：山下 係：掛川・長岡

書き初めを事前に竹に付け、とんどへ添え、年男の方が点火。利用者の方にはしばらく見学をしてもらいました。とんどのおきでお餅を焼き、竹でお酒を湧かし、午後の会食でぜんざいと竹酒を参加者全員に配られ一年間の無病息災を願いました。

2.4 節分祭

日時 平成22年 2月 3日 水曜日 14時00分～15時00分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員12名 係長：福永 係：菅原・岩戸

最初に節分の由来の説明がありました。職員が赤鬼と青鬼になり登場、各グループの代表、職員の代表として年男の方に豆を撒いていただき会は盛り上がり、一年の無病息災を願う事が出来ました。

2.5 ひな祭り

日時 平成22年 3月 3日 水曜日 14時05分～15時00分

場所 食堂

内容 参加利用者68名 短期入所者1名 職員16名 係長：藤 係：木村、魚見

女性利用者さん4名に着物姿で登場してもらい紹介後に「うれしいひな祭り」を全員で合唱しました。白酒で乾杯をした後には、グループ対抗かるたゲームで盛り上がりました。かるたゲームでは1位～3位各グループ代表者が前に出て表彰をされました。(宮崎静美)

6 対外行事

他施設や地域の方々との交流や親睦を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会 係長：渡邊 係：中岡、岩戸

・佐伯総合スポーツ公園を場所に5月24日(日)実施予定でしたが、新型インフルエンザの影響で、中止となりました。

経過 ・5月20日 事務局より文書にて新型インフルエンザの蔓延を予防するために延期

・6月24日 事務局より文書にて親善球技大会の開催有無についてのアンケートあり

・7月 1日 広島県知的障害者福祉協会より文書にて全てのブロックの親善球技大会中止

・7月14日 事務局より文書にて大会中止

2 三次の観光鵜飼い遊覧

日時 平成21年 8月 5日 水曜日 18時45分～21時45分

場所 三次市十日市東(河川敷)

内容 利用者 22名 支援職員 8名 係長：渡邊 係：中岡、岩戸

三次市観光協会会長並びに鵜匠会会長より招待があり鵜飼い遊覧を楽しむ事ができました。参加者は学園のマイクロバスに乗車し現地へ到着後、各班別に分かれて乗船しました。当日は風通しも良く天候にも恵まれていた事もあり、利用者の皆さん落ち着いて楽しそうに景色や鵜が鮎を捕るところを見られました。鵜匠さんの好意により白い鵜を間近でさわらせて頂く事も出来ました。

3 ひろしま障害者フライングディスク競技大会inみよし

21年 8月9日(日)に、みよし運動公園内MIYOSHI DOMEで開催で、アキュラシー5mに参加利用者4名が参加の予定でしたが、雨天の為に中止となりました。(宮崎静美)

7 外泊

定例外泊

平成21年 4月29日(水)～平成21年5月 5日(火) ゴールデンウィーク 44名
(療育センター宿泊利用2名)

平成21年 8月10日(月)～平成21年8月17日(月) お盆 46名
(療育センター宿泊利用3名)

平成21年12月29日(火)～平成22年1月5日(火) お正月 47名
(療育センター宿泊利用2名)

平成22年 3月30日(火)～平成22年4月 6日(火) 春 29名
(療育センター宿泊利用2名)

それぞれ約1週間の外泊で、日付は固定とし、広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施しました。

定例外泊以外にも、随時、ご家族の希望により外泊を実施しました。(宮崎静美)

8 医療

6つの具体的重点事項について、次のとおり実施した。

1 健康管理、検査の徹底

生活習慣病予防健診を他の医療機関と連携をとり実施すると共に、学園内でも利用者とは職員について実施した。利用者の検査は採血・心電図・検尿・便・胸部写真撮影の検査を協力のもと行った。

2 疾病の早期発見・治療・緊急看護につとめる

検査データをもとに検査技師に助言をもらい早期受診への連携・指示うけ・処置・周知などの確に行った。

緊急時には連絡から現場への到着時間などの短縮に力を入れるとともに・意識レベルの低下などでAED、人工呼吸器の使用判断・嘔吐時・出血時の体位や吸引のタイミングなど実施。救急車手配から搬送までの現場実施など緊急対応を行った。

3 歯の健康、治療の徹底

毎月4回の受診は予約をとりながら行うが治療の優先順位など歯科医の指示をうけ受診が多くなる月、緊急受診などで予約通りにならない時利用者への納得(説明)に努力した。

4 感染症対策を充実する

11月は季節風インフルエンザワクチンを接種し、1月には新型インフルエンザワクチン接種と2回施行し充実をはかった。

ノロウイルスなどの流行はほとんどなく下痢・嘔吐時は早期受診と検査で個室管理も短期間で解放、回復された。血液感染症については各医療機関への受診とし徹底を図る。

5 リハビリテーションの普及(対象は身体に麻痺がある)

転倒防止・歩行訓練の指導を日常生活に普及する勤務医師の指導のもとで実施した。

6 回診の試み

1月からグループごと医師来園日に生活棟に出向いてもらい回診をおこなった。利用者の様子を表現・顔貌・歩行・体格などありのままの生活を診ていただき医師とのコミュニケーションを計るなど・訴えを把握し治療・看護の能率を充実したものにしたい。

まとめ

今年度は医師の意見書の作成でDr・事務と連携をとり多忙な1年だった。

回診が開始され周知も多く行った。みなさまのご協力のもと来年度に邁進したい。（瀬川澄恵）

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (kcal)	2,250	2,265
たんぱく質 (g)	70.0	74.3
脂質 (g)	60.0	63.1
カルシウム (mg)	600	595
鉄 (mg)	7.5	9.9
ビタミンA (IU)	2,500	2,285
ビタミンB1 (mg)	1.23	2.92
ビタミンB2 (mg)	1.37	1.24
ビタミンC (mg)	100	118

3 食事形態

常食・刻み食・胃潰瘍食・肝臓病食・糖尿病食を利用者に応じて提供した。

4 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを提供した。

4月：「カレーラーメン」「おろしハンバーグ」「親子丼」「鶏の空揚げ」「カレーライス」「ギョウザラーメン」)

5月：「とんかつ」「ドライカレー」「肉うどん」

6月：「ラーメン」「鶏空揚げ」「かつカレー」「かつカレー」

7月：「鶏肉空揚げ」「カレーライス」「チキンカレー」「ハンバーグ」「クリームシチュー」「肉うどん」

8月：「かつカレー」「ミートスパゲティー」「カレーうどん」「焼き肉」「とんかつ」「ラーメン」「ハンバーグカレー」「チャンポン麺」「ラーメン」

9月：「カレーラーメン」「ラーメン」「かつカレー」「鶏肉空揚げ」「グラタン」

10月：「ポークカレー」「かつ丼」「チキンライス」「キーマカレー」

11月：「ハンバーグカレー」「海鮮丼」「海老フライカレー」「かつ丼」「ラーメン」「とんか

つ」「ポークカレー」「かつカレー」「かつ丼」「うな丼」「カレーライス」「とんかつ」「かつ丼」

1 2月：「ハンバーグ」「かつカレー」「かつ丼」「天ぷら盛り合わせ」

1月：「ハンバーグ」「かつ丼」「鶏竜田揚げ」「ラーメン」「照り焼きチキン」「とんかつラーメン」

2月：「鶏肉空揚げ」「きのこスパゲティー」「かつカレー」「チキンかつ」「ハンバーグ」「ハヤシライス」「味噌ラーメン」「刺身」

3月：「ラーメン」「中華丼」

5 間食 間食は、全グループ統一して提供した。

午前：コーヒー 午後：菓子

6 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。 (後田喜代子)

10 事務

1 目標

外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な対応に心がける。

電話受付では明確な対応に心がけ、速やかに関係部署に報告する。

緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。

その他パソコンのサイボウズを利用して全員あるいは関連部署に配信する。

事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

2 内容

事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所の手続き、利用者療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証の管理、自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、各福祉事務所・行政機関との連絡調整、その他

庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、利用者預金管理、コピー機・コードレスホンの管理、その他
- 経理
- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規則、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、職員、利用者に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。 (古栗 慎・藤川真由美)

1 1 午前日課活動

1 目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。

2 内容

リサイクルクラブ 9名

- ・アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却（月1回程度売却）

集合場所：センター小作業室

きのこクラブ 21名

- ・しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理

集合場所：センタープレイルーム

野菜クラブ 16名

- ・しいたけの植菌・椎茸採取・花の苗栽培、山林、学園周辺の管理・畑作り（土作り）

集合場所：センター大作業室

クリーンクラブ 10名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除

- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける

- ・軍手洗い～活動後の洗濯済みを手を干す。軍手を洗い...集合場所：センター小作業室

いきいきクラブ 13名

- ・学園周辺を個々に応じたウォーキング...集合場所：レインボー生活棟

3 まとめ

- ・クラブ活動も4年目となり利用者が落ち着いて活動に参加されるようになった。
- ・野菜クラブでは今年度から野菜の栽培を始めたことにより収穫の喜びと僅かながらも給食で提供でき楽しみと達成感を提供できたことは良かった。
- ・花の栽培では今年度は多くの種類の栽培を手掛け親の会で販売を試みた、家族の協力で僅かでも収入になった。アサガオやゴーヤを栽培しグリーンカーテンも試みた。
- ・リサイクルクラブは多くの方の協力の下、安定した在庫確保ができ安定した収入源を確保した。
- ・きのこクラブでは山林の管理とホダ木の運搬がメインであった、天候の関係もあり昨年と比べ多く収穫でき生椎茸の販売もできたことは良かった。
- ・いきいきクラブでは暖かい季節は畑の水やりや野菜の収穫にも参加していただき畑の野菜の成長や給食の献立を楽しみにされる方もおられた。
- ・クリーンクラブでは職員1名を配置しセンターの清掃と生活棟、管理棟の清掃も試みた、問題点もあるがそれぞれの利用者の能力も把握できた。
- ・月例会は毎月定期的に行った。今年度は係の職員で月例会や職員の配置表、担当クラブの起案について分担し、良いチームワークで取り組めたことは良かった。

（魚見敏満、塚本博志、中田和弥、岩戸洋三、渡邊 武）

1 2 入浴洗濯係

1 取り組み

- ・利用者が安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・毎月グループ会議のない土曜日の午後、各グループより1名の参加で浴室内の清掃を行った。
- ・毎週日曜日の午前、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・入浴支援担当表を作成し、勤務変更があった場合は随時変更を行った。
- ・看護師はトライアングル・レインボー・はなまるの順番でグループの薬付けに入った。
- ・各グループの利用者個人の入浴時間を調整する事で、利用者間のトラブルを減らし、全体的に余裕のある入浴環境の提供に努めた。また、入浴人数の分散により利用者さんにはゆっくり入浴していただき、職員は丁寧な支援、危険防止、薬付けの徹底を行う事を目指した。
- ・利用者用と職員用の下駄箱を設け、スリッパが脱衣室内の床に散乱しないよう整理に努めた。
- ・利用者用の洗体タオルやシャンプー、浴室掃除用の洗剤、衣類洗濯用の洗剤など、入浴に必要な物品の購入を行った。

3 課題

- ・洗濯洗剤の消費が激しく、在庫を切らせてしまう事が多くあった。
- ・男性浴室を優先してしまい、今年度は女子浴室の全体での掃除が1回しかできなかった。今後は2～3ヶ月の間隔で設定し掃除を組んでいく必要がある。
- ・勤務変更等で入浴支援の役割分担に変更があった場合、連絡などが上手く行っていない時があった。パソコン内だけではなく、掲示板などを利用し周知していく必要がある。

(荒瀬好司、藤 頼久、中田和也)

1 3 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。
- ・一年に一度敷き布団の交換(個人負担)

2 反省

- ・在庫確認やリネン庫の整理は出来ていた。洗濯後のシーツの片付けが出来ておらず洗濯室に多い時があった。汚した布団が袋に入れておらずそのまま置いてあることがあった。毛布から掛け布団に変更時時期が遅くなった。一年に一度の敷き布団の交換を各グループ毎に利用者全員に行った方が良かったのではないかと思う。

- ・布団乾燥機の使用ボードを返却場所や個人名記載を追加し新しい物に変更した。それに伴いリネン庫2の台帳には個人名記入を無くした。(桑田樹実、木村美代子、佐々木拓実)

1 4 営繕

1 目的

- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所を早期復旧作業を実現する。

2 内容

- ・不良、破損箇所について、可能なところは出来るだけ自分たちで修繕に努めた。

3 補修箇所

各居室、廊下の壁の補修

食堂柱コーナーへのモールの貼り付け

鍵穴へのグリスアップ

ドアの塗装はがれ箇所へ塗料塗布

カーテンレールの交換・カーテン、タッセルの補修、作成依頼

電球交換

その他、大きな改修については、業者に委託した。

4 まとめ

- ・徐々に破損箇所が増え、修繕痕が目立つようになってきた。壁の破損は壁材を埋めかえた。
- ・係として、不良、破損チェックが不十分で復旧が速やかに出来なかったことが反省点である。

(山下 誠、福永真也、魚見敏満)

1 5 親の会係

1 概要

- ・ともえ学園入所者の保護者で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成21年5月31日(日) 於:ともえ学園療育センター 46家族、62名参加

平成22年3月6日(土) 於:ともえ学園療育センター 家族、73名参加

2) 役員会の開催

1回目 平成21年 5月31日(日) 於:ともえ学園療育センター
7名出席

2回目 平成21年 6月28日(日) 於:ともえ学園療育センター
9名出席

3回目 平成21年 7月26日(日) 於:ともえ学園療育センター
9名出席

4回目 平成21年11月 8日(日) 於:ともえ学園療育センター
9名出席

5回目 平成22年 3月 6日(土)於:ともえ学園療育センター
8名出席

3) 福利厚生...香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料の贈呈。

6) 親善球技大会 平成21年5月

新型インフルエンザの流行にて延期 中止

7) 美化研修会の開催...平成21年6月28日(日)於:ともえ学園療育センター
「学園美化活動とグループ別茶話会、全体会」 47家族65名参加

8) 美化研修会の開催...平成21年11月8日(日)於:ともえ学園療育センター
「A S J 互助会説明会」(保険会社より来園説明) 45家族62名参加

9) 懇親会の開催...平成22年3月6日(土)於:三次グランドホテル
家族、62名参加。学園職員32名参加

10) 例会の開催

平成21年7月26日(日)於:ともえ学園療育センター

47家族、72名参加

11) お楽しみ会の開催

平成21年7月26日(日)於:ともえ学園療育センター 47家族、72名参加

12) 河内ふれ愛祭り... 平成21年11月1日(日)於:河内小学校

「リサイクルバザー」の実施。前日準備。 ご家族6名参加

売上金 ￥50,040

13) 外泊の受け入れ、援助

平成21年 4月29日(水) ~ 平成21年 5月 5日(火)

平成21年 8月10日(月) ~ 平成21年 8月17日(月)

平成21年12月29日(火) ~ 平成22年 1月 5日(火)

平成22年 3月30日(火) ~ 平成22年 4月 6日(火)

14) 親子レクリエーションへの参加

トライアングル 平成21年10月10日(土)14家族、25名参加

はなまる 平成21年10月11日(日)18家族、28名参加

レインボー 平成21年10月12日(月)17家族、28名参加

3 感想・今後の課題

美化作業は、天候に問題無く終える事が出来て良かったと思いますが、作業終了後、片付けなどの確認が出来ていなかったのが最後確認を確実に言う事を徹底する。

各行事の際、毎回混雑する受付について、全年度から資料・名札をセットでクリップ留めする事、送迎バス利用者には車内での配布等行った結果、混雑の緩和、スムーズな受付が来ているので、引き続き行くと良いと思います。(堂西美保、岩岡直幸、竹間和輝)

16 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただけの快適な空間を提供する。

2 内容

- ・4月に調理室でスチームコンベクションオーブンで1度にパンを焼き提供する方法に変更。朝食の準備がスムーズになった。
- ・毎週日曜日に各部署より1名ずつ集まり、食堂の汚れている箇所を清掃した。また、チェック表を作成しその確認をした。毎週エプロンの洗濯を行った。
- ・手指消毒用のジェスパやウエス、新聞紙の補充を行った。
- ・食事準備の際にマスクを全員着用し衛生面に配慮した。
- ・6月に食事準備の見直しを行った。役割を明確にし、徹底した。
- ・1月に食事準備手順の試行を行い意見をもらって再度確認をした。
- ・2月キャスター付多目的テーブルを購入し食事の準備の際二度手間、三度手間を解消し効率的に使うことが出来た。
- ・3月食器返却棚を撤去し、利用者テーブルの配置変更と配膳台をキャスター付きテーブルに変更。配膳台を移動させながら食事準備を行った。
- ・各テーブルに利用者名を貼り分かりやすくした。
- ・給食リーダーを設定しボードに食数、給食リーダー名を記入し給食リーダーは準備が手順通りに行われているか確認を行った。

3 課題・まとめ

- ・昨年の床の汚れが目立つと課題があった為、毎週日曜日に掃除を取り入れた。
- ・朝食の食パンの際、厨房で一度に焼いてもらう事が出来、時間が短縮できたり、キャスターテーブルの購入によりスムーズに運搬、準備する事が出来た。
- ・ホワイトボードに食数を記入する事により人数の確認が出来た。
- ・不都合があればその都度協議し、改善していく。 (岩戸洋三、藤 頼久、掛川陽介)

17 実習

1 受け入れ状況

学 校 名	人 数	期 間
広島医療福祉専門学校	2 名	平成21年10月12日～10月25日
島根リハビリテーション学院	1 名	平成21年10月19日
キャピタル国際福祉専門学校	1 名	平成22年 1月16日～1月17日
同上	2 名	平成22年 1月16日～1月27日
同上	2 名	平成22年 2月15日～2月19日
同上	2 名	平成22年 2月22日～2月26日
同上	2 名	平成22年 3月 1日～3月 5日

2 まとめ

事前にオリエンテーションを行い、利用者の特徴、障害特性を説明し、施設見学を行ってもらった。自閉症について説明してあるビデオを貸し出し事前学習をしてもらい、実習に参加してもらった。配属部署については、オリエンテーションを行った上で判断し決定した。

3 今後の課題

- ・実習生に対してアドバイスなどしやすいよう、実習生と現場の担当職員とのコミュニケーションし
っかり取れるような時間を設定する必要がある。
- ・グループ毎の実習生対応マニュアルを作成、勤務職員が統一した対応を行う。
- ・実習日誌の記入方法等を事前に説明しておく必要がある。
- ・実習期間中、日々の反省会を検討する。

(木村美代子、桑田樹実、塚本博志)

18 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成21年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は5月1日から11月1日まで94部印刷。12月1日からは身元引受人の方も含
めご家族、理事、評議員と合わせて全部で95部印刷・配布し、同時にホームページに掲載。

2 毎月の記事

5月1日発行	第253号	4月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		はなまつり	5月の予定	新任職員自己紹介	編集後記
6月1日発行	第254号	5月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		母の日感謝祭	合同バスハイク	6月の予定	編集後記
7月1日発行	第255号	6月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		父の日感謝祭	7月の予定	人事異動	編集後記
8月1日発行	第256号	7月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		七夕祭り	親の会お楽しみ会	8月の予定	人事異動
		編集後記			
9月1日発行	第257号	8月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		物故者追悼式	観光鶺鴒遊覧	新任職員自己紹介	
		9月の予定	編集後記		
10月1日発行	第258号	9月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		体育祭	10月の予定	人事異動	編集後記
11月1日発行	第259号	10月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		収穫祭	11月の予定	新任職員自己紹介	人事異動
		編集後記			
12月1日発行	第260号	11月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		勤労感謝祭	新任職員自己紹介	人事異動	
		12月の予定	編集後記		
1月1日発行	第261号	12月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		ご逝去のお知らせ	新年の挨拶	1月の予定	編集後記
2月1日発行	第262号	1月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	
		年賀式	餅つき・とんど	新しい利用者の紹介	
		2月の予定	編集後記		
3月1日発行	第263号	2月の様子	各グループの出来事	一品メニュー	

4月1日発行 第264号

節分祭 3月の予定 編集後記
 3月の様子 各グループの出来事 一品メニュー
 ひな祭り 4月の予定 編集後記
 (竹間和輝、有田貴之、佐々木拓実)

19 研修

1 職員研修会

目的

- ・研修の機会の提供・利用者支援技術の向上
- ・障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識する為

内容

- ・ 4月18日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 18名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
 テーマ：「事例検討についての意見交換」
 (各グループから処遇困難事例についてのアドバイス他)
- ・ 5月16日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 17名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
 テーマ：「親・家族について理解する」
 (「二人の障害児を育てて」のビデオ観賞)
- ・ 6月27日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 15名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
 テーマ「コミュニケーションや自閉症について」
 (「傷害者カップルの半年を追って」のビデオ観賞)
- ・ 7月29日(土) 18:10~19:00 職員室 参加者 21名
 テーマ：「全国研修会発表にむけての予演会」 発表者...塚本博志
- ・ 8月22日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 19名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
 テーマ：「全国研修会発表予演会(2回目)実施」発表者...塚本博志
 (講評・助言をいただく)
- ・ 8月24日(火) 18:20~19:20 センタープレイルーム 参加者 16名
 講師：三次消防署職員 3名
 テーマ：「救命救急について」
 (AEDがいざというときに使用できるようになる。)
- ・ 9月12日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 18名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
 テーマ：「全国研修発表の感想・国際的な障害の概念」
 (障害者の社会参加を課題に資料に基づき研修)
- ・ 10月31日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 14名
 講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏

テーマ：「アスペルガー症候群と就労・言葉の援助」
(障害者の社会参加を課題に資料に基づき研修)

・12月19日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 13名

講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏

テーマ：「備北地区セミナー・子どもの理解と関わりについて」

・2月20日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 20名

講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏

テーマ：「自閉症スペクトラムの内面世界を探る」

2 新任職員のビデオによる研修

目的

- ・利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・自閉症の障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめることができるようになるために、自閉症の理解を深める

内容

- ・5名の新任職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のビデオ、DVD見ての感想を提出してもらった。

3 結果・課題

- ・職員研修会では、船津守久氏に8回講義して頂いた。8月には、「いざというときに使用できるようになる。」為に三次消防署の方に来園して頂き救命救急の指導を受けた。この研修は毎年やって欲しいの意見も多数あった。
- ・講義の内容については分かりやすくケースの事例などの検討、また参加出来ない時など資料の配付もあり勉強になった。
- ・処遇困難事例についてのアドバイスの要望も多かった。
- ・積極的な意見交換が出来る雰囲気も作って行く必要があると思った。
- ・課題として土曜日以外だったら参加が可能の意見が多かった。
- ・せっかくの研修なので全員が参加出来る体制を作って欲しいと思う。
- ・固定化した研修会ではなく様々な方面からの内容の研修会にしていきたい。

(山地恵子、高場修治、塚本博志)

20 ボランティア

1 概要

今年度もボランティアグループみよしの皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、オシメ縫い、アイロン掛け、ウエス作り、ゼッケン作成などをして頂きました。

施設見学をされることで、私達の仕事を「大変なお仕事ですね。」とか「施設内がキレイです。」と言って下さった。

作業に不足している道具などは、ボランティアに来られた方に聞きながら補充をした。

ミシン使う際に厚い生地を縫うと、トラブルが起きやすかった。ミシンの使い方が職員も分からない所があり、説明書もないのでトラブルが起きた際、トラブルの復旧に時間がかかった。

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答していただいた。

2 受け入れ状況

5月25日	田幸地区	5名
6月22日	三次地区	5名
7月27日	清河地区	5名
9月28日	十日市地区	5名
10月26日	三次地区	5名
1月25日	十日市地区	5名
2月22日	清河地区	5名

(若床まゆみ、有田貴之、堂西美保)

2 1 エコロジー

1 理念

- ・地球温暖化を防止、ともえ学園でも出来ることを実践する。
- ・何をすべきかを一人ひとりが考え、できることから実践していく。
- ・便利で快適な「エゴライフ」から、「エコライフ」へ。
- ・活動を通じ地球環境保護への意識を高めてもらう。

2 目標

- ・パソコン、プリンターの電源を切る。
- ・不要な待機電力の削減。
- ・会議室冷蔵庫の詰めすぎによる電気の使用量の削減。
- ・エコワットを活用し消費電力に対する意識を持ってもらう。
- ・物をリユースする事でエコ活動に参加し、エコ意識を高める。
- ・「もったいない」精神を行動に移す。
- ・物の大切さを感じてもらう。
- ・エコに興味を持ってもらうきっかけを作る。

3 内容

- ・プリンター、パソコン、テレビ、電気を消してもらう啓発ポスターの作成。
- ・エコキャップ回収運動(職員室のゴミ箱付近に、キャップ回収ボックスを設置し、ペットボトルを捨てる時にキャップを入れてもらい、集めたキャップはNPO法人エコキャップ推進協会に寄附しポリオワクチンとなって世界の子どもたちに与えてもらう。キャップは400個で10円、ポリオ ワクチン1個20円で、3000個になった時点で寄附する。)
- ・プルタブ回収(職員室のゴミ箱付近に、プルタブ回収ボックスを設置し、缶飲料を捨てる時にプルタブを取って入れてもらう。ある程度集まったら太田金属に売却し、そのお金はともえ学園で使用する。)
- ・無人販売所(FOX)を利用し、家庭で使用しなくなったり、不用になった物を提供して頂き、安価にて販売するリユース運動を行う。
- ・クールビズバッジを職員に配布しエコに興味と意識を持ってもらう。
- ・各グループ会議でエコについて意見や提案を出してもらい、取り組みに反映させる。

4 反省

- ・啓発ポスターの作成、掲示やクールビズバッジの配布等、これまでにない取り組みで、何らか

のエコ意識は持って頂けたように思う。

- ・エコキャップやプルタブの回収運動は徐々にではあるが、着実に集まっている。ただ、今年度当初の係長が退職されたため、年度途中で係長が交代したこともあり、引き継ぎが上手く出来ていなかった。そのことで、エコキャップの寄付に関しては3000個集まった時点で寄付すると計画していたが、個数の把握や寄付経路が不確定な事や、プルタブに関しても売却時期等が不明確であり、来年度に向けて引き継ぎをしっかりと行いたい。
- ・リユース運動に関しては、年度当初から前半期にかけては定期的にリユース品の提供があったが、後半期ではほとんど提供なく、職員への呼び掛け不足が反省され、何らかの収集方法も考える必要がある。また、売れ残った商品に関しても、季節外れの衣類等は一時的に保管する等の工夫も必要であったと思う。
(高場修治、山地恵子、濱本 豊、藤川幸子)

2 2 あいさつ運動

1 主旨

あいさつ・・・私達は、挨拶から始まり、挨拶で終わる日々を過ごしています。一人ひとりが楽しく、気持ちの良い学園生活を送る為にも、自らが気持ちの良い挨拶を出来るようになることだと思います。進んで「お先にあいさつ」を持続していきましょう。

2 目標：何時もあいさつに気持ちを込めて、エネルギッシュでホットな学園を目指しましょう。

3 内容

1 職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・過去に掲げてきた目標を今回も引き続いて行う。
- ・去年に持続して、司会者に朝礼の時と施設周りの時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行ってもらおう。
準備物として、タスキ、腕章は、以前の物を使用する。
- ・挨拶を日常的、自然に出来る様にする。
「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤者全員に挨拶する。
早出、遅出、夜勤の人は、職員室、廊下、散歩中の時など、窓越しでも人を見掛けたら「こんにちは」「今日、挨拶まだですよ」など声を掛けるように心掛ける。
一日三回の司会者による学園訪問の時には笑顔で積極的に挨拶をする。
- ・職員室の掲示板に「あいさつ運動」のポスターを貼る。
三ヶ月に一度、役員が交代で作成し貼り替える。
自由に個性を生かし、標語や絵などを描くなどしてバリエーション豊かなポスターを作成する。
準備物として、絵の具、筆、模造紙、パレットを用意する。

4 反省

- ・ポスターを貼る事で、あいさつの明るさや楽しさをイメージ付ける事が出来たと思う。
又、作成する人の個性の変化で職員室に新鮮さも取り入れられて良かった。
- ・三ヶ月に一度のポスター作成にしたが、二ヶ月に一度のペースでも良かった。
- ・司会者のタスキ、腕章かけなどは前年度から引き続き持続したもので本年度の新たな活動が無かった。
- ・もっと積極的なあいさつ運動活動をすべきだった。
(坂本美雪・渡邊 武・堂西美保)

2 3 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち、利用者及び職員が生活しやすく 気持ちのよい環境に整備する。

2 取り組み

清掃活動

- ・毎月第4土曜日の15：30から15分間を清掃活動とした。
- ・事前に場所と内容 参加者名を周知し、当日は朝礼で伝達した。

参加者（各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名）

掃除箇所

4月25日	正面玄関周辺	5名参加
5月23日	利用者玄関	5名参加
6月27日	女性用職員更衣室	5名参加
7月25日	男性用職員更衣室	5名参加
8月22日	センター玄関周り	4名参加
9月26日	洗濯室	5名参加
10月24日	職員室の内窓外窓	4名参加
11月28日	正面玄関周辺	5名参加
12月26日	食堂サッシのレール	5名参加
1月23日	職員室の冷蔵庫 レンジ シンク周り	5名参加
2月27日	管理棟宿直室（浴槽含む）	4名参加
3月27日	センター大作業室床	5名参加

ゴミゼロ啓発活動

- ・ゴミゼロ係4名が標語を作り、各部署に2点ずつ、3ヶ月ごとに貼り替えた。

標語 拾うより捨てない工夫 ゴミゼロ運動

ゴミゼロを 目指せきれいな学園内

自分から 進んで 広める 整理、整頓

ゴミが無い世界を目指しましょう

落ちていたらゴミを拾いましょう

すばやく その場で すっきり職場

みんなで 保とう きれいな職場

気付いたら その場ではじめよう 整理整頓

気をくばり 整理整頓 忘れずに

整理整頓 ひとりひとりの 心がけ

ゴミゼロ 小さな行動 大きな効果

みんな出来ます ごみを無くせなくても減らすこと

3 まとめ

- ・清掃活動は、日頃掃除が出来ない所 汚れが気になる場所など綺麗に清掃出来て良かった。
15分の短い時間だったが、事前に準備物をそろえて役割を決めて作業に取りかかったので効率の良い活動が出来たと思う。

- ・ゴミゼロ啓発活動の取り組みは、標語がなかなか決まらなくて掲示するのが遅くなったが、「ゴミを拾うかたづける汚れていたら自発的に綺麗にする」が少し意識してもらえたと思う。
(岡下チエミ、菅原献司、川本治樹、長岡清美)

2 4 掲示物

- ・各方面から送付されてきた、広報誌や、情報、案内を全職員にわかりやすく、新しい情報の提供に努めた。
- ・活動内容は係員3名で一週間毎に交替で掲示物をサイボウズで周知した。(ともえ学園の掲示板に「広報物の紹介」というタイトルで作成し、随時、広報物のタイトルやポイントを書き込んで行った。掲示期限も入れた。)
- ・掲示物は職員室に掲示し、期限がきたら破棄する物と保存する物に分けた。

反省

- ・期限が来ても取り外しが出来てなかったことがあった。
- ・掲示の貼り方を変えるまでは、密集し過ぎて見にくかったが、貼り方の変更後は、綺麗に整理して張ることが、出来たので分かりやすかったと思う。(山縣圭子、岩岡直幸、掛川陽介)

2 5 消臭除菌

- ・生活棟・厨房・センターなど個室・廊下・トイレ・通路を中心にクリーンボーイ(噴霧機)を使用し消毒用と加湿用それぞれ用途に応じて選択し使用した。
- ・毎日クリーンボーイは各生活棟で使用された。
- ・使用回数の把握では記録用紙を作成し(月日・場所・時間・施行者)記録された。
- ・消臭(エアーケム)の取り替えは2か月に一回の割合で9ヶ所の点検取り替え作業を行った。
- ・安全に取り付けるために利用者の不在時間を利用し行った。
- ・厨房の消毒は年2回行った。(バルサン乳剤使用)
 - 1回目はH21,8/10 Pm(21:30~22:30),(23:30~24:30)
 - 2回目はH21,12/29 Pm(20:00~21:00),(23:00~24:00)
- ・クリーンボーイにタイマーをセットし厨房職員・夜勤者と配置場所などの確認をしながら行った。
- ・クリーンボーイは生活棟・厨房で使用されており使用前後のフィルター・コード・本体の汚れなどを常に点検し使用した。(瀬川澄恵、山下 誠、中岡健太郎、長岡清美)

2 6 人権委員会

1 年間目標

- ・利用者さん、職員同士に於いても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・礼節を重んじた言葉遣いで、対人支援技術の向上を目指す。
- ・体罰を用いた支援は絶対に行わない。
- ・全てにおいてプライバシー保護への配慮をする。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・威圧的で権威的及び命令的な口調などの働きかけはしない。

・第三者の視点で自分を見つめ直す。

3 取り組み

・月に一度、グループ会議で提示する議題で話し合い、日頃の支援活動を振り返り意見交換する。
(議題については人権委員より掲示する)

4 各月の議題

6月「あたりまえでないことが、あたりまえになっている」

7月「職員間同士の言葉遣いについて、プロとしてふさわしい言葉遣い」

8月「職員間で注意しあえる環境作りについて」

9月「職員間や利用者の挨拶やその返事について」

11月「利用者さんの支援の姿勢や行動について」

12月「利用者の方の年齢に応じた支援や言葉遣いについて」

1月「利用者への強要」

2月「6～9月の問題提示を振り返り、日頃の支援に生かしているか？」

3月「11～1月の問題提示を振り返り、日頃の支援に生かしているか？」

5 まとめ・今後の課題

行動規範を昨年度から朝礼時と夜間者が申し送り後に唱和していたが、全員に意識付けが浸透したと思われ、行動規範の唱和を5月末で廃止した。

毎月グループ会議で議題を上げていき、それらについてグループ内で話し合ってもらい意見交換する事で、職員間の人権を意識した支援に対する意識付け以前に比べて出来るようになったと思う。しかしまだ徹底出来ていない部分もあり、今後も職員全体で定期的に啓発活動に取り組んでいく必要がある。また、人権啓発するポスターを掲示する予定であったが、取り組みなかったことは反省であり、課題である。来年度はポスターを提示することで人権意識を高めることに繋げていきたい。

(中岡健太郎、菅原献司、荒瀬好司、日坂悦子、宮崎静美)

2.7 見学者

1 概要

電話での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらせたりなど十分な配慮を行い実施した。

見学者には、今後の見学対応を向上させるためにアンケートに回答していただいた。

2 見学受入日

・ 4月20日	3名	一般(入所希望)
・ 5月26日	3名	一般
・ 6月 6日	3名	一般(入所希望)
・ 6月10日	31名	民生児童委員協議会
・ 7月22日	3名	一般(入所希望)
・ 8月 6日	2名	一般(入所希望)
・ 8月12日	4名	一般
・ 10月 8日	8名	一般

- ・ 10月19日 7名 一般
- ・ 2月22日 1名 一般
- ・ 3月11日 4名 一般（入所希望）

（宮崎静美）

2.8 防災

1 目的

- ・ 災害発生時は、速やかで適切な対処となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・ 消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・ 緊急時への対応能力向上を図る。

2 防災研修会の実施

1) 研修内容

利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と要注意事項

消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

- ### 3 緊急時の対応として、「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検も随時行っている。「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認している。

4 消防訓練実施状況（ は防災リーダー）

4月25日 土曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 藤田・全員

5月22日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 魚見・高場・相川

6月19日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 若床・有田・荒瀬

7月24日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 山地・福永・塚本

8月24日 月曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 訓練者： 岩戸・渡邊・中岡

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

9月18日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 後田・全員

10月30日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 佐々木・岩岡・木村

11月21日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 堂西・桑田・中田

12月18日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 長岡・山下・竹間

1月27日 水曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 高田・全員

2月27日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 掛川・藤・佐々木

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

3月12日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 荒瀬・藤田・川本

5 消防設備点検

年2回実施 平成21年9月・平成22年3月 業者委託により実施。

（宮崎静美）

29 朝礼

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、毎朝9時より実施した。

司会は職員が交替で行い、内容は、開会挨拶、身嗜みのチェックから始まり、園長、事務長、支援部長、各グループ、栄養課長、事務、厨房、全体係、その他からの報告、当日防災リーダーの紹介、コードレス電話の確認、職員の体調の確認、笑顔の練習を行い、閉会挨拶で終了となる。

7のつく日(7日、17日、27日)には、AEDと人工呼吸器のチェックも行った。

年度当初は、職員が円形になって、それぞれその場所で報告していたが、途中から発表者用、司会者用の演台とマイクを設置し、演台の前で報告してもらうこととした。

司会や発表の仕方も随分上達してきたと思う。(古栗 慎)

30 運営会議

各部署の代表者で構成され、毎月、月初めを予定し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

日々の情報は速やかにパソコンのグループウェアで周知され、会議では報告等が削除されることにより、必要な内容を掘り下げ討議できるようになった。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。(古栗 慎)

31 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティinひろしまへ8チーム参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・月2回、安全運転管理者協議会からのメールマガジンを抜粋し周知
- ・安全運転管理者協議会の一事業所一運動に参加
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼
- ・セーフメーターを取り付け、安全運転の啓発

3 まとめ

- ・トライザセーフティinひろしまへ参加した8チーム中8チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。
- ・安全運転に努めて頂くよう、引き続き啓発運動を行っていきたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(高田孝康)

3 2 危険物取扱者

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。 (後田喜代子)

3 3 福祉協会

広島県知的障害者福祉協会スタッフ部会に部員として登録

・ H 2 1、9月・H 2 2、2月に支援スタッフ圏域会議に参加。

・ H 2 2、3月に支援スタッフ部会圏域会議総会へ参加。

ひとは作業所、清風会、子鹿学園、さくら学園、もみじ学園、ともえ学園の6施設で、支援に対する情報交換会を行う。

・ 2 0 0 9年9月に開催された「全国知的障害者職員研究大会 広島大会」の話しをした。

・ 1回目：新型インフルエンザ、ノロウイルスの対策が中心の話し合いを行った。

・ 2回目：利用者の性についてと高齢者の誤嚥についての話し合いを行った。

・ 総会：重度高齢者の看取りについてと支援を通して考える「性」についての話し合いを行った。

・ 一年間を通して他の施設の支援や取り組みなどを学ばせて頂いた。来年度は備北地区の圏域代表を行うので施設見学や研修会などを行って行きたいと思います。 (福永真也)